

表紙写真はどこ?

中播磨には楽しく学べる施設がいっぱい!

今回は、兵庫県立ものづくり大学校ものづくり体験館に行ってきましたよ。最先端技術を使った製品を見たり、プロの先生から直接、ものづくりの技を教してもらったりできるんだ。姫路城でも使われている漆喰の塗壁の実技と土壁コテ絵製作を体験したけど、どちらも難しい…。やっぱりプロはすごい!

【ものづくり体験講座の問い合わせ】

兵庫県立ものづくり大学校ものづくり体験館 TEL.079-240-6280

<http://taikenkan.monodai.ac.jp/>



中播磨のイベント情報

中播磨地域活動交流メッセ〈福崎町エルデホール周辺〉 9月14日(土) 中播磨県民局県民室県民課 ☎079-281-9197	第26回 全国陶器市〈大手前公園〉 11月1日(金)~11月5日(火) ひめじ町衆の祭典実行委員会事務局 ☎079-221-2522
観月会〈砥峰高原〉 9月21日(土) とのみね自然交流館 ☎0790-31-8100	姫路藩文化観光学習船〈姫路城内堀〉 11月1日(金)~11月30日(土) 姫路藩和船建造委員会 ☎079-287-3652
和紙に描く四季の絵ふみ展〈好古園〉 9月21日(土)~10月6日(日) 好古園 ☎079-289-4120	ふくさき産業祭〈エルデホール周辺〉 11月2日(土) 9:00~15:00 福崎町商工会 ☎0790-22-0558
戦国時代の福崎町(講演会&ハイキング)〈春日山周辺〉 9月29日(日) 10:00~12:30 福崎町観光協会 ☎0790-22-0560	笠形山登山〈笠形山〉 11月3日(日) 市川町観光協会 ☎0790-26-0099
スナッグゴルフ大会〈フォレスト市川ゴルフ倶楽部〉 9月29日(日) 市川町商工会 ☎079-26-0099	カーミンの収穫祭〈カーミンの観光案内所〉 11月3日(日) 神河町観光協会 ☎0790-34-1001
神前山ハイキング〈神前山周辺〉 10月19日(土) 10:00~15:00 福崎町観光協会 ☎0790-22-0560	越知川名水街道“秋物語”(秋祭り)〈カーミンの観光案内所〉 11月10日(日) 神河町観光協会 ☎0790-34-1001
ススキまつり〈砥峰高原〉 10月20日(日) とのみね自然交流館 ☎0790-31-8100	紅葉会〈好古園〉 11月15日(金)~12月1日(日) 金・土・日のみ 好古園 ☎079-289-4120
第18回 ひめじ国際交流フェスティバル〈大手前公園〉 10月27日(日) 姫路市文化交流課国際室(国際交流センター) ☎079-287-0820	商工祭〈市川町文化センター〉 11月17日(日) 市川町商工会 ☎079-26-0099
秋の大茶の湯〈好古園〉 10月27日(日) 好古園 ☎079-289-4120	食博・全国ご当地おでん・地酒サミット〈大手前公園〉 11月22日(金)~11月24日(日) 姫路食文化協会 ☎079-287-3652
姫路城物語(各日イベント盛りだくさん)〈姫路城〉 11月の土・日・祝 姫路市観光交流推進室 ☎079-287-3652	NHKキャラクターイベント〈姫路城三の丸広場〉 11月23日(祝) 姫路市観光交流推進室 ☎079-287-3652
姫路菓子まつり2013〈大手前公園〉 11月1日(金)~11月5日(火) 兵庫県菓子工業組合・姫路菓子組合・姫路市産業振興課 ☎079-223-2115・079-221-2513	第24回 福崎町自然歩道を歩こう大会〈神戸医療福祉大学〉 11月23日(祝) 9:15~ 福崎町住民生活課 ☎0790-22-0560
姫路城皮革フェスティバル〈大手前公園〉 11月1日(金)~11月5日(火) 兵庫県皮革産業協同組合連合会・姫路市産業振興課 ☎079-285-3872・079-221-2513	町民ゴルフ大会 12月1日(日) 市川町商工会 ☎0790-26-0099
	雑草いけばな展〈好古園〉 12月5日(木)~12月10日(火) 好古園 ☎079-289-4120

Hari Maga

中播磨地域ビジョン情報誌 発行：中播磨地域ビジョン委員会



Contents

- 銀の馬車道プロジェクトが未来遺産に…………… P.1
- 中播磨の地域力紹介…………… P.2
- 第6期グループ活動レポート…………… P.3~P.6
- 表紙の説明・中播磨のイベント紹介…………… P.7

編集後記

ビジョン委員会の活動にご協力いただいている皆さま、いつも本当にありがとうございます。記念すべき10号目のビジョン情報誌『Hari Maga』が完成しました。御国野小学生ボランティアガイドのみんなは、元気いっぱい、広報部員もとても楽しく地域の歴史を学ぶことができました。今号でも元気いっぱいの中播磨の魅力を皆さまにお届けできたと思います。



情報誌に対するご意見
ご感想などのご連絡先

中播磨地域ビジョン委員会事務局
〒670-0947 姫路市北条1-98

兵庫県中播磨県民局県民室ビジョン課
電話(079)281-9053 FAX(079)281-3015
メール:nkharimakem@hyogo.lg.jp

兵庫初！銀の馬車道プロジェクトが未来遺産に登録

明治初期、日本初の高速産業道路として、生野と飾磨津（現姫路港）を結んだ「銀の馬車道」。中播磨地域ビジョンでは、この歴史遺産を活用した「銀の馬車道プロジェクト」をシンボルプロジェクトに、連携と交流の地域づくりを進めています。

平成24年11月、同プロジェクトが県内で初めて日本ユネスコ協会連盟のプロジェクト未来遺産に登録されました。平成25年3月30日（土）には登録証伝達式やイベントが開催され、さらに多くの県民の参画と交流に期待が寄せられました。



砥堀幼稚園の子どもたちが
バルーンリリース

銀の馬車道修築の碑ミニパーク竣工式

最初の記念行事として、銀の馬車道修築の碑ミニパークの竣工式が姫路市砥堀の生野橋西詰めで開催されました。記念碑の除幕式が行われ、砥堀幼稚園の子どもたちがバルーンリリースし、完成を祝いました。ミニパークは明治9年に建てられた、馬車道完成の記念碑を保存。説明看板や花壇なども設置し、新たな交流拠点として整備されています。



移設保存された修築の碑

登録証伝達式

日本ユネスコ協会連盟によるプロジェクト未来遺産登録証伝達式は、姫路市花の北市民広場大ホールで行われました。

前田耕作未来遺産委員から銀の馬車道ネットワーク協議会の中元孝迪会長に、登録証と応援金の目録が授与されました。

前田委員は「未来の世代に受け渡すにふさわしい形を沿線住民が模索し、知恵を出し、新しい展開を形作ろうとしている」と評価。中元会長は「姫路城に加え、新しい歴史文化遺産が播磨に誕生した。今後はさらに活動の輪を広げていきたい」と抱負を語りました。



登録証伝達式

記念フォーラム

伝達式に続き、記念フォーラムが銀の馬車道ネットワーク協議会によって行われ、約500人が参加しました。

【基調講演 ～未来遺産としての銀の馬車道～】

前田耕作未来遺産委員が講演。アフガニスタンなどアジア各地での古代遺跡の現地調査や保存活動の経験などを踏まえ、文化遺産を保存、継承することの大切さが語られました。

【パネルディスカッション ～銀の馬車道を未来につなぐ～】

講演後は、パネルディスカッションが行われました。コーディネーターは中播磨地域ビジョン専門委員でもある兵庫県立大学環境人間学部の宇高雄志准教授。パネリストの取組事例紹介を交え、地域資源の活用や、次世代に継承する活動について議論が交わされました。

パネリストと取組事例

- 薩摩藩英国留学生記念館の建設（砂田光紀 同記念館総合プロデューサー）
鹿児島県いちき串木野市では、1865年に薩摩藩から英国に派遣され、日本の近代化に貢献した留学生19名の功績を継承し、地域文化・観光振興に活用。
- 「銀の馬車道」をテーマとした郷土学習（長川智彦 姫路市立城乾小学校教諭）
城乾小学校では、平成24年度に銀の馬車道建設の経緯や地域に与えた影響を考える連続授業を実施。郷土への誇りや愛着を育む教育に取り組んでいる。
- 銀の馬車道劇団による公演活動（玉田恵美 NPO 法人姫路コンベンションサポート理事長）
平成19年に同劇団を結成。地域住民から公募した幅広い年齢層が集う。人情喜劇「銀の馬車道」の公演活動を通じて、銀の馬車道の普及と地域への愛着を育んでいる。



地域資源の活用が議論された

人情喜劇「銀の馬車道」公演

最後に、銀の馬車道劇団による人情喜劇が上演され、多くの観客を魅了しました。



地域住民が熱演した「銀の馬車道」

プロジェクト未来遺産

公益社団法人日本ユネスコ協会連盟が進める未来遺産運動のひとつ。100年後の子どもたちに、地域の文化、自然遺産を守り、継承する市民活動を登録し、推進する人と地域を日本全体で応援する仕組み。全国39件が登録。県内では銀の馬車道プロジェクトが初めて選ばれました。

発掘！中播磨の地域力



中播磨には文化や歴史、新しい取り組みから誕生した数多くの魅力があります。中播磨地域ビジョン委員会では、地域資源を発掘、再発見し、新しい地域づくりに役立てようと、「地域力」として数え上げています。

今回は、地域力を生かし、新しい地域づくりに頑張る皆さんを広報部会が紹介します。

小学生が黒田官兵衛ゆかりの史跡を案内

2014年のNHK大河ドラマの主人公、黒田官兵衛ゆかりの史跡が多く残る姫路市御国野町。特に官兵衛が若き日を過ごした御着城跡は、ビジョン委員会でも多くの方がテレビ等で紹介したい素敵な風景として、地域力に数え上げています。

この御着城跡を拠点に活動しているのが、御国野小学生ボランティアガイド。昨秋、ドラマの放映決定を機に、地域の魅力をPRしようと御国野地区文化保存会が呼びかけ、結成されました。現在は小学5、6年生24人が参加。毎週土、日曜日に御着城跡周辺の歴史スポットを案内するガイドとして活躍しています。6年生の児童の一人は「地域の歴史を知っておきたかった」と話してくれました。



御国野小学校5,6年生が
ボランティアガイドとして活躍中



取り組みを説明する
御国野地区文化保存会の井内会長

平成25年7月14日（日）には、加古川市内のシニアカレッジに通う約30人にガイドツアーが行われました。子どもたちは、官兵衛の祖父と母をまつる黒田家廟所など5カ所を案内。自ら考えたクイズや身振り手振りを交えてもてなす姿に、ツアー参加者からは「よく勉強している。素晴らしいね」と感心する声が上がっていました。

御国野地区文化保存会の井内義延会長は、「どうすれば伝わりやすいか、ヒントだけを与えるようにしています。自分で考え、自分で学ぶことで、子どもたちには無限の可能性がある。地域、ふるさとを愛する心を育てるための活動だと考えています。いつか地域の大切な文化を守り、継承する存在になってくれれば」と期待していました。今後は、さらに案内できる場所を増やし、ガイド認定証の交付を目指すそうです。



観光客に官兵衛ゆかりの地を案内

自分たちの住む町に、多くの観光客が訪れるようになったことに大人も子どもも喜びを感じているようでした。地域の魅力ある風景を舞台に、世代や地域を超えた交流が広がっています。

みんなで確認しよう“地域力指標”

「こんな地域にしたい」という将来像を描いた中播磨地域ビジョン。その実現状況や地域の魅力を測るのが地域力指標です。統計資料を活用した「フォローアップ指標」と、地域資源を数え上げ、新しい地域活動につなぐ「数え上げ指標」で構成。数え上げ指標では、B級グルメ、祭り、ロケ地をテーマに、地域の魅力を発掘しています。

<http://web.pref.hyogo.lg.jp/chk02/chiikiriyokushihyou.html>

平成25年度総会を開催

平成25年5月25日（土）、中播磨地域ビジョン委員会総会を姫路職員福祉センターで開催しました。

木多見委員長および各部会長が平成24年度の事業実績を報告し、参加者とともに1年間の活動を振り返りました。続いて、木多見委員長が各部会の実践活動や夢会議の開催などの平成25年度事業計画を説明し、参加者から承認されました。



希望が育つ中播磨部会

私たちは、人の心に「希望」が「育つ」とはどういうことなのかを真剣に考え、「子ども、親、若者の育ちを支援する」をテーマに、社会的弱者・更生中の若者への支援にも視野を拡げて活動しています。

平成 24 年度の主な活動

- 11月 ふれあいの祭典にて、サッカーボウリングゲームや折り紙教室を開催。
- 12月 2回の見学会を実施し、「障がい福祉サービス事業所ひかり館」「姫路市立書写養護学校」「兵庫県立神出学園」「播磨社会復帰促進センター」の4施設を見学。



サッカーボウリング



障がい福祉サービス事業所ひかり館見学

見学会を通して、地域には生きづらさを感じながらも懸命に生活している人々がいることを再認識しました。見学させて頂いた施設には、そういった人々を支える仕組みがあることを知り、そして、どの施設においても認知度の低さが課題となっていることがわかりました。そこで、私たちにできることは、正しい情報をできるだけ多くの人々に伝えることだと考えました。

平成 25 年度の主な活動（予定）

- 4月～ 8月 県民アンケートの作成。
- 9月 中播磨地域活動交流メッセ会場にてアンケートを実施。
- 10月～12月 部会メンバーが各自でアンケートを実施。
- 1月 アンケートの集計・報告書の作成。
- 2月 報告書を提出。

今年度は、前年度の活動で得た知識を県民のみなさまに伝える手段として、県民アンケートを作成し播磨広域で実施します。多くの方々に社会的弱者について知ってもらい、さらに、公平な環境の必要性を考えるきっかけとなるような、啓発活動になればと考えています。そして、結果をもとに報告書を作成し、これからの県政に必要な弱者対策を県民から提案していくことを目指します。



県民アンケート

安全安心中播磨部会

健康寿命UPグループ

「2013 中播磨地域活動交流メッセ」への参加

スポーツ吹き矢の体験コーナーに参加します。

<スポーツ吹き矢とは>

1998年に日本で生まれた新しいスポーツです。高い運動能力や腕力はいりません。基本動作は腹式呼吸で、精神力・集中力を高められ安全で健康にも良いスポーツです。また自然と武道に通じる姿勢・礼儀正しさが身につきます。

* 8月18日(日)9時15分よりすこやかセンターにてスタッフの事前研修も行いました。

日時:9月14日(土) 10時~15時
場所:福崎町エルデホール 体育館



スポーツ吹き矢体験

本年も高齢者向け「体力測定会」& ニュースポーツの普及指導を行います。



24年に行った勝原小体育館での「6分間歩行」の様様

今年も秋以降に開催すべく、ただいま案内状等を差上げております。新たに実施をご希望の老人会等がございましたら事務局へご一報下さい。

<体力測定>の六種目は、6分間歩行、10メートル障害歩行、開眼片足立ち、長座体前屈、上体起こし、握力です。

またスポーツ吹き矢を含め、各種ニュースポーツの指導も出来ますので、希望をお聞かせ下さい。



地域の安全化グループ

私たちのグループは「人々が助け合って安心して暮らせる地域づくり」を趣旨に活動をしています。平成24年度は防災施設、拠点の見学や防災についての研修会を実施しました。そして地域との連携状況、直面する課題についてグループで話し合いを重ねた結果防災に関して「地域と学校の連携について」をテーマに取り組むこととしました。平成25年度は5月に中播磨地域の各小学校に「防災に関するアンケート」を実施し、おかげさまで74校の回答をいただきました。



地域の防災講習会に参加



防災に関するアンケート

今後アンケート調査の内容を整理して、現状の把握、分析、考察を行って報告書を作成し、各方面に効果的な方法でフィードバックができればと考えています。その他の活動としては学校と地域との連携の状況や課題について、先進的な取り組みをしている地域や、ユニークな取り組みをしている地域を訪問学習し、また関連して研修会の開催や必要に応じて学校訪問を行って、各委員間の理解を深めながら活動していきたいと思っております。

第6期 グループ活動レポート

自然豊かな中播磨部会

美グループ

私たちは食とエネルギーの地産地消と美しい地域づくりを目指し、その仕組み作りに取り組んでいます。

エネルギーでは、太陽光発電システムとシャボン玉発生装置を完成させ、神河町ピノキオ館にてその実演を行い、この様子をサンテレビが収録、「ひょうごワイワイ」で放映されました。

食の地産地消では、虫や臭いのないサラサラのたい肥が出来るコンポストを開発。実証実験を行ったものを、「ばいお君コンポスト」としてモニターを募集し、25名の方に体験してもらっています。



ばいお君コンポストの取扱い説明会

また、間伐材でプランターをつくり県花の「のじぎく」を植え総合庁舎前に展示しています。

交流メッセでは、緑のカーテンであり、美しい優雅な花をつけるケーブタウンブルー（宿根アサガオ）を生ごみ堆肥で育て展示します。ソーラー発電で、音楽を流しながら、パネルの点灯とシャボン玉を飛ばして楽しみ、昨年大人気だった間伐材を使った木工工作を実施します。



ソーラー発電がひょうごワイワイで放映

アグリプロジェクトグループ

市民参加の農づくりを目指そう

私たちは、地産地消の仕組みづくりと自然資源を活用し後継者の育つ魅力ある農業づくりを学んできましたが、依然として大きな課題があります。農は今、大きな岐路にあり、TPPへの参加に関係なく、担い手が高齢化し、後継者不足となっています。

農を専業とするには、農地の集積を図り規模拡大し、経営を効率化することが必須です。そのためには企業参入の障壁を取り除く、いわゆる規制緩和が必要です。効率化できない里山に繋がっている棚田、谷あいの農地は耕作放棄地と化し、獣害による人的・物的被害を引き起こしています。私たちは、これらを少しでも減らすことを目指し、研修や実践的活動をしておられる方の講話を聴き、進取の気概のある人達の工夫や努力の姿を学んできました。



袋栽培実証試験中

これからは農業従事者だけでなく、一般市民の趣味的利用の参加・拡大を図り、耕作放棄地を活用しやすい仕組みとし、土のいらぬ袋栽培を9月の交流メッセに展示し、誰でも楽しめる農をキャッチフレーズに、農を身近なものにできることをPRしたいと思っています。



里山実践活動家による実体験講話

元気交流中播磨部会

観光グループ

元気交流中播磨部会観光グループでは新たな地域資源を発掘するため神河町赤田集落で行われた農村の伝統行事「虫送り」に参加させていただきました。

この行事は平成17年に復活した行事で集落が一体となって取り組んでいました。

我々ビジョン委員も朝から集落の人達と一緒に竹を切り出したり、麦わらで斉藤実盛像や馬の作製のお手伝いをしました。



虫送りに参加したビジョン委員

お昼には婦人部で作っていただいた心のこもったカレーライスをいただきながら集落の取組をお聴きしました。

いよいよ夜のとぼりが集落を包む頃、午前中に作製した人形や太鼓、鐘、松明を持ち、集落を巡行し、豊作を祈りました。

過疎化は当地域でも例外なく進んでいますが子ども達にふるさとのよさを伝えるために集落一丸となって懸命に取り組んでおられる姿に深く感銘を受けました。



実盛人形を燃やす様子

食グループ

私たち元気交流中播磨部会食グループでは、食で中播磨地域を元気にしようということで、大学生や青年会議所のメンバーも交えた若さあふれるメンバーで活動を行っています。姫路周辺の酒蔵を見学するツアーを行ったり、6月には家島で、ちくわづくりを行ったりしました。家島在住のビジョン委員の方々の協力も



家島町坊勢でちくわを試作

得て、1.5mほどのちくわを作りました。今後は改良を加えながら、もっと大きなちくわにチャレンジする予定です。

今後の活動としては中播磨地域で採れる山の幸や海の幸、また住んでいる人しか知らないような郷土料理などをもっと発掘して、より多くの人に中播磨の魅力を発信していきたいと思っています。



1.5mのちくわを炭火焼き